

ホーゼル内にセットして簡単にフェイス角を調整 フェイス角可変用アルミ管



Made in JAPAN

実用新案登録商品

1コ単位で販売致します

360度 装着向きを
変えることで
フェイス角が変化



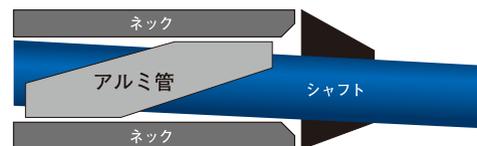
フェイス角可変用アルミ管とは

「シャフトを振って挿入する」ことにより、
仕上りのフェイス角を調整する事が可能。

使用条件「ホーゼル内径と、シャフトのTIP径の差が0.5mm以上」

ホーゼルを研磨し、特定のサイズに調整する必要がないから手軽に使えて便利。
クラブの種類を問わず使用可能。簡単にシャフトを斜めに挿入できます。

今まで、クラフトマンが手作りのパーツで行っていた
「シャフトを振って挿入する作業」をいつも同じパーツで行うことが可能。
共通のパーツを使用することで、アイアンの場合、番手間の誤差を軽減。



「フェイス角可変用アルミ管」を
ホーゼル内にセットしシャフトを挿入することで、
「シャフトを振って挿入する」ことができます。
シャフトは約1度、斜めに挿入されます。

使用方法 ※フェイス角可変用アルミ管は、使用する前に内側、外側の表面を研磨し、脱脂してからご使用下さい。



接着剤を塗り、ホーゼルに可変用アルミ管を挿入する。
挿入する向きは、スリット部分を先側（ヘッド側）にします。



シャフトの向きを確認し、接着剤を塗り、挿入。（可変用アルミ管が硬化する前に挿入する。）



シャフトを動かさないように注意し、溢れ出た接着剤を拭き取り、硬化を待つ。



硬化を待たずにシャフトを動かすと、可変用アルミ管が動く恐れがあります。

ポイント

フェイス角可変用アルミ管は装着する向きによって、仕上がり角が変化します。
仮組みを行い「可変用アルミ管の挿入向き」「シャフトの挿入向き」をご確認の上、ご使用下さい。